

科目名	高齢者看護学特殊研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (高齢者看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 上野公子					科目ナンバー	T2C221
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	高齢者看護学に関連する自己の課題に取り組み博士論文を作成する。また、研究計画に基づいた研究プロセスを体験することにより、看護学研究の実践に関する能力を身につける。						
授業の到達目標	明確な研究課題の下、国内外の文献をもとに、自ら研究の意義を明らかにして、高齢者看護の実践や学問発展を促すための新しい知見を示すことができる。						
授業計画	回数	担当者			行動目標		
	<p>【行動目標】</p> <p>1)以下に示す一連の研究プロセスを着実に踏みながら、自己の研究課題に取り組み、最終的に博士論文を作成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題および目的の明確化</li> <li>・文献レビュー</li> <li>・研究計画書作成 (倫理的配慮の明示)</li> <li>・本学倫理委員会に書類提出</li> <li>・データ収集</li> <li>・データ分析</li> <li>・結果の提示</li> <li>・適切な図表の作成</li> <li>・考察</li> <li>・研究の限界と今後の課題の明示</li> <li>・結論</li> </ul> <p>2)作成した博士論文を学術誌に投稿することができる。</p> <p>【教員研究テーマ】</p> <p>在宅および施設で生活している高齢者の健康に関する研究、高齢者ケアに関わる看護学生の学習経験に関する研究</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	学習者自ら不明な点などを毎回明らかにして臨むこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に定めない。						
参考書	特に定めない。						
成績評価の方法および基準	研究計画書30%、中間発表20%、口頭試問50%として評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 図表作成、文献リスト、英文タイトル作成にあたってはAPA(米国心理学会)論文作成マニュアル最新版を参考にすること。 密に担当教員とコンタクトを保つこと。 課題・レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						